

## 「京都の大殉教列福記念事業特別委員会」 設置趣意書

この12月に、ベネディクト16世教皇によって「ベトロ岐部と187殉教者」の列福が正式に決定するにあたり、カトリック京都司教区において、「京都の大殉教」の列福の記念事業を行う、「京都の大殉教列福記念事業特別委員会」を以下の要綱で設置したいと思います。

### — 要 綱 —

1. 名 称:

「京都の大殉教列福記念事業特別委員会」

2. 目 的:

「ベトロ岐部と187殉教者」の列福を控え、これに含まれる「京都の大殉教」の列福を教区として記念するために資する事業を企画実行する。

3. 記念事業の概観

1. 「京都の大殉教」に関する啓発広報活動

・講演会(福音センター企画)

2007年5月12日(土曜日)

講師:溝部脩 高松司教(殉教者調査委員会 委員長)

2. 長崎での列福式典(予定2007年11月23日)への参加巡礼団

3. 「京都の大殉教列福記念碑」の建立事業

序幕式 予定 2008年10月5日(日曜日) 福者顕彰・記念碑序幕ミサ

4. 京都教区の「京都の大殉教」の列福記念典礼(参照:殉教日 10月6日)

2007年10月7日(日曜日) 「京都の大殉教」列福 教区一斉祈願ミサ

(共同祈願など)

予定 2008年10月5日(日曜日) 福者顕彰・記念碑序幕ミサ

5. 列福記念グッズ制作・頒布

6. 記念事業費募金活動

4. 「特別委員会」の構成と設置期間:

・構成: 座 長: 司教 大塚喜直

司祭委員: 花井拓夫 師、外崎豊 師

信徒委嘱委員、学識顧問委員、キリシタン研究会

・設置期間 2007年1月～ 記念事業終了時まで(予定 2008年10月)

\*「京都の大殉教」の名称について

現在、京都・鴨川大仏正面の殉教地には「元和キリシタン殉教の地」の石碑が立っている。確かに1619年10月6日京都で行われた大殉教は元和年間に起こった出来事であるが、「元和大殉教」ということばは、日本キリシタン教史のうえで従来1622年9月10日長崎西坂での大殉教を指すことばとして定着していることから、それとの混同を避ける意味で、「京都の大殉教」ということばを用いた。

日本の三大殉教と呼ばれる他のひとつ「江戸の大殉教」が、「東京の大殉教」でなく、当時の地名「江戸」の大殉教となっていることから、「都の大殉教」あるいは「京の大殉教」とすべきであるとも考えられるが、「京都」とすることについても根本的矛盾はなく、かつこれまでカトリック教会内の列福運動のなかでも、すでに定着したことばとして「京都の大殉教」のことばを今回正式に採用した。